

2024年4月24日作成

Ver.1.5

移植待機の門脈圧亢進症患者に対し肺動脈圧スクリーニング目的で心エコー図検査を施行すべき症例を拾い上げるための検査項目の同定

1、研究の目的と意義

目的：門脈肺高血圧症（PoPH）は肝硬変・門脈圧亢進症のまれですが予後不良な合併症です。PoPHを疑って心エコー図検査を施行し、三尖弁収縮期圧較差（TRPG）高値により肺高血圧症を疑われた場合に、右心カテーテル検査で肺高血圧の存在を証明することで診断することができますが、PoPHで呈する症状は非特異的であり、肝硬変・門脈圧亢進症による症状との区別もつきにくいいためそもそも疑われにくい疾患です。肝硬変・門脈圧亢進症症例で TRPG 高値となる可能性の高い集団を絞り込むことができれば、その集団に心エコー図検査を施行することで効率的に PoPH を診断することができますと考えられ、肝硬変・門脈圧亢進症症例において、PoPH スクリーニング目的での心エコー図検査を施行すべき症例を拾い上げる検査項目・所見を同定することを目的とします。

意義：心エコー図検査を行うべき症例を適切に選定する所見を同定することで、PoPH への適切な治療介入を促し、生命予後の改善につなげることができます。

2、対象となる患者さん

当院で 2010 年 9 月 13 日～2021 年 5 月 10 日までの間に肝移植を施行し、移植前に心エコー図検査を行っており、TRPG が測定できている、肝移植時に年齢が 20 歳以上の患者さん

3、研究の方法

本研究は電子カルテや過去の診療の中で採取したもので【4、研究に用いる資料・情報】にお示ししている情報を収集し、サイトカインを測定します。TRPG の値が高い方と低い方のデータを比較して違いを調べます。

4、研究に用いる試料・情報

- ・患者背景：性別、年齢、飲酒歴、喫煙歴、家族歴、既往歴
- ・自覚所見：呼吸困難感、息切れ、倦怠感、
- ・臨床検査：白血球数、赤血球数、ヘモグロビン値、血小板数、AST、ALT、ALP、 γ GTP、総蛋白値、アルブミン値、総ビリルビン値、LDH、CK、総コレステロール値、LDL コレステロール値、HDL コレステロール値、中性脂肪、アンモニア、血糖値、HbA1c、グリコアルブミン、プロカルシトニン、Fib-4 index、M2BPGi、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン、IV型コラーゲン 7S、総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比、IGF-1、ds-DNA 抗体、抗核抗体、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体
- ・画像検査：門脈大循環シャントの有無、門脈大循環シャント径、下大静脈径、肝静脈径、門脈径、脾臓サイズ、門脈血栓の有無、肝癌の有無、腹水の有無、食道静脈瘤、心エコー図検査

・サイトカイン（肝線維化マーカー）：医局内保存血清を用いて測定

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2026 年 12 月 31 日

6、外部への試料・情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 消化器内科 研究責任者名 三馬 聡

8. お問い合わせ先

長崎大学病院 消化器内科 三馬 聡

〒852－8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）